

シリーズ 報徳のおしえ

子ども報徳訓を 地域や家庭の中で実践を12

報徳を実践する人々を紹介するシリーズの8回目は、豊頃中学校生徒会長として、中心的な役割を果たしている齋藤由梨さんを紹介します。齋藤さんは、2年生で、前期は副会長を経験し、後期は会長に立候補したそうです。

▼会長に立候補した動機は
明るくて挨拶がきちんとできて元氣な学校にしたかったからです。

▼そのために活動していることは
私たちの学校では、当たり前のこととを、当たり前前にできるようにするために、カスタム運動をされていて、あいさつ運動や、遊びと勉強時間のけじめをつけるチャイム着席などの取組をしています。他にも総合的な学習の時間に、豊寿大学や地域の人達と一緒に校舎の周りや市街、豊頃駅舎を清掃するクリーン作戦を行っています。

▼活動をしての感想は
クリーン作戦では、地域がきれいになりますし、お年寄りの方と交流もできてよかったです。また、カスタム運動でも、挨拶などはよくできるようになっていて、考えていることは
子ども報徳訓は、カスタム運動と同じように、当たり前前



春のクリーン作戦

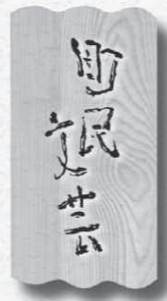
たり前にできるようにするためのものだと思います。ですから、そういうことを、いつも意識して生活することが大切だと思います。

▼道徳で報徳について勉強することは
日常の中での報徳の大切さや自分の考えや気持ちを見直すよい機会だと思つて勉強しています。

今回のインタビューで、齋藤さんは、小学校を含めた様々な報徳の学習や実践を通して、多くの大切なことがきちんと身につけているとの印象を持ちました。将来は、警察官(刑事)になって、犯罪に遭つた人などを助けたり救ったりしたいそうです。明るくはきはきと受け答えをする姿に、きっと誰からも親しまれる警察官になるだろうと感じました。目標に向かって頑張つて欲しいと思います。

分度～それぞれの良さ 自己をみつめて

推譲～ゆずる心 共に生きる



茂岩俳句会

十勝晴れ返返る日の多かりし
松井 テル子
春そこいきょうも散歩の日をかきね
大崎 和子
豪雪に行き先変える一人旅
長崎 あけみ
冬霧の消えてまんまる月仰ぐ
牧野 ユキ
十勝野はマイナス温度雪解けず
関本 民一
忍ばせし懐炉にゆとり貰ひけり
中屋 吟月

豊寿文芸

除雪の夜胃にしみわたる発泡酒
佐藤 通彦
一仕事終えて夕餉のぬくめ酒
堀川 富子
入植の苦難源二の句碑に雪
保科 保男
雪道は杖の先までキュッと鳴る
新保 幸子
執着は生きることのみ寒に入る
青木 公範
湯どうふを二人で揃う幸もあり
前川 ひとみ
朝夕は家族が憩う炬燵かな
戸館 勝己
冬うらら柱に残る子の背丈
楽山 せつ子
春よ来いシルバーカーが出番待つ
池田 テル
来し方や深雪つらぬく漢の背
堀田 幸子

我が家のアイドル

さかい はると
坂井 悠飛 <ん>
親☆惟亮・麻美/茂岩末広町
平成23年1月9日生まれ

しげさ こうせい
濹佐 考星 <ん>
親☆晝・綾子/茂岩末広町
平成23年1月24日生まれ

こんにちは！食べるの大好き「こうせい」です。ご飯やお菓子をいっぱい食べて、いつもお腹はパンパンだよ。外でのお散歩や絵本も大好きです。どうぞよろしくね。♡♡

はじめまして☆お姉ちゃん大好き「はると」です。いつも優しいお姉ちゃんに遊んでもらってるよ。甘えん坊で時々泣き虫な僕だけとよろしくね。